

非小細胞肺癌（進行・再発） 2nd Line以降 DTX+Ramucirumab療法

()コース目

患者ID: @PATIENTID

患者氏名: @PATIENTNAME

身長 (cm)	体重 (kg)	体表面積 (m ²)
\$HEIGHT01_Doc	\$WEIGHT01_Doc	#VALUE!

投与スケジュール: 1コース 21日

使用基準: class A

- ※ 高血圧・血栓塞栓症の患者は慎重投与
- ※ ラムシルマブ添付文書及び適性使用ガイドに準じて投与すること。
- ※ ショック、アナフィラキシー様症状、Infusion reaction発現に要注意。
- ※ 発熱性好中球減少出現ないし、一週間好中球<500/mm³のときはドセタキセル50mg/m²に減量

《使用薬剤》

ラムシルマブ (RAM): ラムシルマブ (100mg/10mL、500mg/50mL)

ドセタキセル (DTX): ドセタキセル点滴静注 (1V: 20mg、80mg)

投与量:

薬剤	標準投与量	計算値 (mg)	投与量 (mg)	投与日
ラムシルマブ	10 mg/kg	#VALUE!		1
ドセタキセル	60 mg/m ²	#VALUE!		1

<< タイムスケジュール: 開始時刻 >>

※記載している時刻は例です。当日の投与予定時刻ではありませんのでご注意ください。

day1 1月1日 (金) レスタミンコーワ (10mg) 5 T 点滴直前に内服

0時00分 ① 生理食塩液 50mL + デキサート 6.6mg 1V
15分かけて点滴静注

0時15分 ② 生理食塩液 100mL + グラニセトロン 1A
30分かけて点滴静注

0時45分 ③ 生理食塩液 250mL + ラムシルマブ *mg*
1時間かけて点滴静注
蛋白質透過型のフィルター(0.2又は0.22ミクロン)を使用する

1時45分 ④ 生理食塩液 100mL
1時間かけて点滴静注
(Infusion reactionの発現がなければ、3コース目以降は省略可)

2時45分 ⑤ 生理食塩液 250mL + ドセタキセル *mg*
1時間かけて点滴静注 0.0ml
注) 点滴開始から10分間は点滴速度を遅めに設定して、全身状態を観察する。

3時45分 ⑥ 生理食塩液 50mL
フラッシュ

REFERENCE

Edward B Garon, Tudor-Eliade, Ciuleanu, et al: Lancet 2014;384:665-73

Ramucirumab plus docetaxel versus placebo plus docetaxel for second-line treatment of stage IV non-small-cell lung cancer after disease progression on platinum-based therapy (REVEL): a multicentre, double-blind, randomised phase 3 trial

プラチナ製剤を含む一次治療後に進行したIV期非小細胞肺癌(non-small cell lung cancer; NSCLC)を対象とする

ドセタキセル+ラムシルマブ併用とドセタキセル+プラセボ併用の第II相ランダム化二重盲検試験

2016年8月度化学療法プロトコル委員会承認: 2016年8月1日 更新: 2016年11月17日